

# 国際交流ひろば



鳥取市国際交流員  
張 日 榮  
(チャン・イルヨン)

## 清州市の紹介

～世界に輝く印刷文化遺産～

一九九二年三月、清州市に韓国の古代印刷文化の歴史を分かりやすく伝えるために「清州古印刷博物館」がオープンしました。規模はそれほど大きくありませんが、展示内容においてはドイツのマインツ市にあるゲートンベルグ博物館に劣らない、

人類の歴史に永遠に残る博物館です。

金属活字を用いた印刷の歴史は、一般には一四五〇年のドイツのグーテンベルクによる聖書の印刷が始まると言われています。しかし、金属活字が初めて作られたのは、高麗王朝時代(九一八年～一三九二年)の朝鮮半島でのことでした。記録では、一三三四年に刊行された『詳定古今礼文』という書物を金属活字で作ったということが、現存する文書の最古の記録です。これによれば、世界最古の金属活字の鑄造は、元(モンゴル)軍の侵入で高麗王朝が開城から江華島に首都を移した一三三二年のことで、グーテンベルクより二百年以上も前のこととなります。しかしこのことは、

肝心の『詳定古今礼文』の原本が見つかっていないため、まだ裏付けられてはいません。しかし、その後の一三七七年に金属活字で印刷された仏教書『直指心体要節』の原本(下巻のみ)が、一九七二年にフランス国立図書館で見つかり、その書の最後に「宣光七年丁巳七月日清州牧外興徳寺鑄字印施(一三七七年七月清州の興徳寺で金属活字を用いて印刷する)」という記録が印刷されていました。

この書の発見で、グーテンベルクより少なくとも七十三年前に高麗で金属活字による印刷が行われたという事実が世界に知られ、同年五月二十九日にフランスのパリにあるユネスコ本部

はこの『直指心体要節』を世界最古として認めました。しかし、興徳寺の位置に関しては、正確な根拠がなく確認することが出来ませんでした。ところが、一九八五年、清州市の住宅地開発事業の途中で興徳寺跡が見つかり、韓国政府はその場に韓国の印刷文化の歴史を称えるため、清州古印刷博物館を建てることになりました。そして、二〇〇一年六月には『直指心体要節』がユネスコの世界記録遺産として登録されました。

このように、世界に輝く印刷文化遺産を持つ清州市民たちは文化的な誇りを持っており、文化財の保護にも努力しています。



チヨクシン シンタイヨウセツ  
「直指心体要節」

## 鳥取市国際交流プラザ からのお知らせ

### ブラジル料理教室生徒募集!

- と き 11月8日(金) 午前10時30分～
- と ころ 鳥取市国際交流プラザ
- 講 師 クリス・高橋さん(留学生)
- 定 員 10名(先着順)
- 受講料 無料(但し、材料費は1000円程度必要)

### 第29回タイムバザーの開催

鳥取市に在住する外国人のためのバザーです。

- と き 10月19日(土) 午前11時～
- と ころ 鳥取市国際交流プラザ

家庭用品・子供服・防寒具・新品タオルなど特に必要ですので、ご協力ください。

申し込み・問い合わせ先 鳥取市国際交流プラザ(湖山西一丁目・ &FAX31 3253)